

# Q & A

## Welcome to Whitsunday join in Schedule Cruise.

### 1. 乗船場所まではどのようにして行けばよいのでしょうか？

ご到着空港によってアクセスが異なりますので、詳しくは担当者よりご説明いたします。  
ご自信で直接ヨットに行かれる場合は、チェックインオフィス又はヨットの集合場所をご案内します。  
通常、チェックインオフィスにて乗船書面をご記入いただいた後、ヨット乗船まで自由時間となります。  
ご希望に応じて、チェックインアシストに日本語ガイド（有料）を手配することも可能です。

### 2. 食事、アレルギーについてのリクエストは可能ですか？

ヨットでは、多彩なメニューを揃え皆様をお迎えしておりますが、アレルギーや、食事制限、  
ダイエット食をご希望の場合は、ご予約時にお申し付けください。  
お食事の好みなどは、乗合ゆえ他のお客さまもいらっしゃいますので、100%お受けすることは出来ませ  
んが、食べられないものがあれば事前にご連絡ください。コックにお伝えいたします。

### 3. クラゲやサメの心配はありませんか？

海ですのでサメはいますが、めったに見る事はありません。ウィットサンデー諸島海域のサメは、  
リーフシャークで、すぐに逃げてしまいますので、ご心配には及びません。  
夏季（10月～5月）には、クラゲが発生することがありますので、遊泳用に薄手のライクラスーツ（ス  
ティンガースーツ）をマリナーにてご用意しています。レンタル料はおよそ\$15/人となります。

### 4. 乗船するクルーは、何名ですか？

ほとんどのヨットは2名（スキッパー1名、ホステス1名）となり、操船からサービスまでいたします。  
一部の大型の艇については、サービスクルーも含めて3～4名乗船となります。  
いずれも英語でのサービスとなりますが、皆フレンドリーなオージーですので、カタコトの英会話でも  
安心してクルージングをお楽しみいただけます。

### 5. ホワイトヘブンビーチへはゆけますか？

ウィットサンデー諸島の主要ポイント（ホワイトヘブンビーチなど）は必ずクルージングいたします。  
風がないときでも、エンジンにてこれらのポイントは巡ります。  
ただし、当日の天候次第となりますことをあらかじめご了承ください。

### 6. ミネラルウォーターは、ヨットにありますか？

ヨットには、十分な飲料水を積んでいますが、各自でお持ちいただくこともお勧めします。  
小型のペットボトルは、携帯にも便利です。冷蔵庫はご自由にお使いください。  
一部の大型艇以外は、船上でのドリンク類の販売はありません。

### 7. ドリンク類は、持込出来ますか？

ヨットはすべてBYO（Bring Your Own）で、お持込自由となっております。  
一部の艇では、リストによりドリンク類の事前オーダーを行っていますが、銘柄に限りがあるので、各  
自お好みをお持込されることをお勧めします。マリナーにはキオスクがあります。  
お持ち込みいただいたドリンク類の収納は、キャビンに置かずクルーにご相談ください。

### 8. ヨットの操船もしてみたいのですが？

もちろん、セイルトリムからステアリングまでご希望に応じてご体験いただけます。  
お気軽にクルーに相談ください。

### 9. 家族で乗船できますか？

乗合のヨットは、ほとんどの艇で、お子様は乗船出来ません。  
乗船可能な年齢はヨットによって異なりますので、お問合せください。  
ご家族でクルージングをお楽しみになる場合は、チャーターをお勧めします。

#### 10. 喫煙は出来ますか？

デッキ上で喫煙出来ます。吸殻は指定の灰皿をお願いします。  
サロン及びキャビン内は、禁煙となります。

#### 11. ヨットには、日よけはありますか？

各ヨットともコックピットにサンオーニングがございます。  
セイリング中はオーニングが使えない艇もありますので、日焼け止めと帽子のご使用をお勧めします。

#### 12. 大きなバックを収納する場所がありますか？

各キャビンに入りきれないものは、別途ロッカーに収納出来ます。クルーにご相談ください。  
また、スーツケースなどの大型のものは、陸上のオフィスにてお預かりいたします。

#### 13. ビデオカメラをもって行きたいのですが船上で充電はできますか？

ヨットには、発電機が搭載され、必要に応じて240Vの電源を取ることが出来ます。  
プラグの形状は、オーシャンタイプですので、アダプターが必要です。且つ機種によっては100V用のコンバーターが必要となります。（事前にリクエストいただければレンタルも可能です）

#### 14. ハミルトン島やディドリーム島にいてみたいのですが

ディドリーム島やハミルトン島のハーバーでのオーバーナイトも可能です。（係船料各60ドル）  
ヨットクラブや、ナイトクラブ、レストランなど場所によってドレスコードがありますので、ディナータイムに行かれる際は、あらかじめご留意ください。

#### 15. 持ち物についてアドバイスをお願いします。

船内キャビンはスペースが限られますので、荷物は少な目に、ソフトバック等をお選び下さい。  
ヨットには、木製部分も多いので、角の尖ったケースなどのお持込は、ご遠慮ください。  
遊泳時や、ビーチへの上陸時に防水の小さなバックがあると便利です。ビーチタオル（砂浜用）は、各自お持ちいただくか、オフィスにてレンタルをご利用ください。寝具はヨットにあります。  
船上では、5月～9月の冬期はもちろん、夏期でも雨天や夜がやや肌寒く感じられるときがありますので、長袖や、長パンツをお持ちいただくと良いでしょう。（防水ジャケットは、ヨットにございます）  
履物は靴底の白いデッキシューズ又はスニーカー等をご持参ください。（裸足は滑りやすく危険です）  
ディンギーからビーチへの上陸のために濡れても良いサンダルなどが別途あると便利です。上陸時には、ブッシュや岩場も歩く場合がありますので、踵のストラップのついたものや、リーフウォーカーなどが良いでしょう。また、日差しが強いので、サングラスや、帽子、日焼け止めは必須です。  
（サングラスやカメラなどの所持品の紛失は保険がカバーしませんので、あらかじめご了承ください）  
ヨットには、CDプレイヤーがありますので、お気に入りのCDをお持ちください。  
また、夜の星空を楽しむために小さいペンライトなどがあると重宝します。  
お菓子、スナック類の持ち込みも自由ですので、日本の味などをお持ちになると他のゲストとのコミュニケーションの一助となるなど重宝します。

#### 16. スノーケリングセットは持参したほうがよいでしょうか？

ヨットには、人数分のスノーケルセットがございますが、外人サイズで大きめのものが多いので、スノーケリングを満喫されたい方はご自身専用を持参されるほうがより快適にお楽しみいただけます。

#### 17. クルージング中にスクーバダイビングは出来ますか？

ウィットサンデー諸島では、各所にダイビングサービスがありますので、スクーバダイビングをご希望の方は、乗船時にクルーにお伝えください。ダイブボートがヨットへお迎えにあがるランデブースタイル、ビーチへ上陸してダイブポイントへ向かうスタイルなど、Cカード保持者から体験ダイビングも可能です。利用の方法によっては、カードは使えませんので、現金を多めに用意ください。  
（ダイビング料金は、75ドル前後からとなり、直接ダイブサービスへお支払いください。）

#### 18. 船酔いが心配なのですが

ウィットサンデー諸島は、内海に面する海面が多く、海は穏やかですが、当日の天候や、海況により揺れることもありますので、船内は避け、デッキ上でおくつろぎください。  
停泊地は、静かな入江でまったく揺れを感じませんので、船酔いの心配は無用です。